

明星院だより

発行所
広島市東区二葉の里
2丁目6-25
明星院
TEL 082-261-0551
FAX 082-262-1827

人の身体は、いつか必ず滅します。(諸行無常)人が滅するすがたは、花が散るさまと同じで、「いろはにほへどちりぬるを」です。
身は花とともに落つれども、
心は香りとともに飛ぶ
弘法大師『性霊集』より



暑中お見舞い
申しあげます
令和六年 猛暑

いろは歌

大石 順教 筆

体の命としてだけ見るなら、地水火風の四大の元素に帰ってしまうのみだと見えるでしょうが、肉身が滅して、なお滅びない命のありかを思うとき、帰ってゆくところは仏の命です。
「心は香とともに飛ぶ」の香は仏に供えるお香のことですが、その香煙に乗って天に昇り、弥勒菩薩の浄土に往生するのだということが言われています。
身体は花のように散り落ちても、心(魂)は香を食物として生き生まれる。どうしてでしょうか。生前に三宝(仏法僧)に供養した功德で浄土に往生すると見ることが出来ますが、ここでは、お香を信仰のしるし、あかしと考えてみたいと思います。
仏さまを信ずるからお香を焚く。信ずるといのは心のはたらきですが、それが目に見える供養の行いとなるように、心のはたらきは、死後にも生き、香りとなって飛ぶのです。

お四国詣りご報告

第十期第一回巡拝 阿波之国

満開の桜が出迎えた薬王寺は、古来厄除けの寺として有名で本堂までに三十三段の「女坂」四十二段の「男坂」の石段が続く。本堂右手には瑜祇塔の鮮やかな朱色が、青空に映えていた。読経後に振り返ると急に視野が開け、日和佐の街並みが眼下に広がった。

第23番 薬王寺

《只今募集中》

四国遍路(主佐・伊予之国遍路)

大師堂再建御礼参りの旅

◇日程 十月二十一日(月)～十月二十四日(木)

◇定員 十五名

◇会費 一〇〇,〇〇〇円

◇申込 十月十日までに当山へ
(但し、定員になり次第締め切ります)

巡 拝 日 程 表	
10/21 (月)	広島駅＝<山陽道・しまなみ海道>＝50) 繁多寺＝49) 浄土寺48) 西林寺＝46) 浄瑠璃寺＝47) 八坂寺＝45) 岩屋寺＝古岩屋荘(泊)
10/22 (火)	旅館＝44) 大宝寺＝番外) 十夜ヶ橋＝43) 明石寺＝42) 仏木寺41) 龍光寺＝40) 観自在寺＝39) 延光寺＝足摺岬(泊)
10/23 (水)	ホテル＝38) 金剛福寺＝37) 岩本寺＝36) 青龍寺＝35) 清瀧寺34) 種間寺＝33) 雪隠寺＝春野町(泊)
10/24 (木)	ホテル＝32) 禅師峰寺＝31) 竹林寺＝牧野植物園＝30) 善楽寺＝南国 IC＝<山陽道・広島高速>＝広島駅

※巡拝の順序や旅程は、道路事情、天候等により多少変更されます。

身支度の すみし遍路と 朝餉かな

立江寺に 脇目も振らず 夕遍路

金剛杖 抱えて吸る 心太

延光寺

竹林寺

編集後記

「七夕の風が吹き込む 仁王門」
☆園庭に子ども達の元気な歌声が聞こえてくる。「笹のはさらさら：五色の短冊私書いた♪」はたしてどの様な願いごとを書いたのであろうか。皆の幸せを記してほしいものである。
☆もう日本の四季の移ろいは無くなるのか。永い間積み重ねてきた自然破壊は、もう取り返しのきかない所まできてしまった。あとは、どう自然と共存していくか。真剣に向きあっていかなくはいけません。☆まだまだ大暑が続きます。ご自愛下さい。

不動明王・十一面観世音菩薩
修復勧進のおすすめ

現在私が住職代務をしている高野山真言宗弘法寺より、先代故沖村全栄住職の遺言として不動明王と十一面観世音菩薩の二体の仏像を託されました。しかし長年劣化したまま放置していたため傷みが激しくそのままではお祀りできない状態でしたが、このたび京都の松本明観大仏師と表具師佐藤松鱗堂による一年間をかけての修復作業等を終え安置できる状態となりました。それぞれの尊像写真と由来書は次の通りです。

このたびの不動明王画像は由来書によると弘法大師御真筆と伝わるもの、十一面観世音菩薩像は江戸時代中期頃の作とされていて、どちらも歴史のある貴重な仏像であると同時に大変由緒正しい仏様なのであります。

つきましては、この修復安置の機会に檀信徒の皆様にもこの霊験あらたかな尊像に是非結縁していただき各施主様のお名前を記し、永く後世に伝え奉安することを発願いたします。

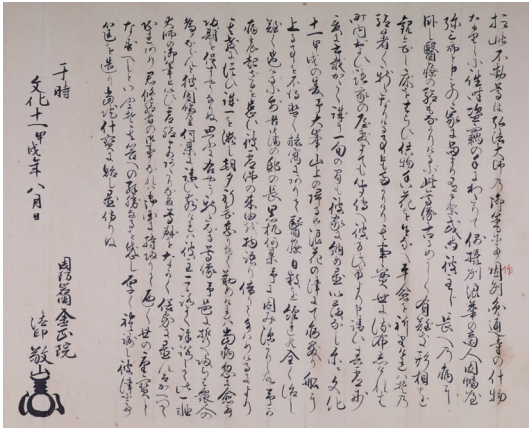
檀信徒の皆様には、趣旨をご理解いただき何卒ご志納賜りますようお願い申し上げます。

山主敬白



掛軸の箱書き

由来書



そもそも、この不動尊は弘法大師の御筆にて作州（岡山県美作）圓通寺の什物なりしに往時盗人のてにわたって、撰州浪華（大阪市）の商人因幡屋弥三郎と申す家に留まりありけり。或る時彼の主人永病に臥し医療の驗なかりけるに、この尊像古るめかしく有難き形相を観念し床をはらい供物香花をそなえ平癒を祈りければ、その驗著しく新なりける事とも多かりけり。其の事実、世に流布しければ町内および諸家の屋敷までも聞き伝え、彼方此方より申し請い其の靈妙、爰に云戴かたく一句の間も彼の家に納め置く暇なし。

金正院先住、文化十一年甲戌（一八一四）の夏大和高峰山登嶺の帰路、浪華の津にて病を得て船に上る事を得ず。暫く旅寓にありて医療日数を経ても全く治し難く過ぎける。彼の靈仏の来由を物語り借りて、其の教えに従い誠一を凝らし、朝夕祈念怠りなく勤めければ、当病忽ちに癒て帰期を促すようなりぬ。思うに右よう新たなる尊像予邑に携え帰らは、衆人の為ならんと彼の因幡屋何某に請い求ければ、彼の主快く許諾して此の一軸大師の御筆を云い霊験目の当たりなる。尊鉢ながく俗家に置んは、かえって恐れあり。君修験者の御事なれば御国に持ち帰って過く世の重宝となすべしといふにぞ其の答えの殊勝なるを感じ厚く礼拝し彼の津にて筐を造り当院付宝に貽し置き侍りぬ。

千れ時に文化十一年戊午八月
周防岩国金正院法印敬山

変遷

不動明王	十一面観音菩薩
岡山県美作 圓通寺 ＝ 大阪市の商人 因幡屋弥三郎家 ＝ 山口県岩国 金正院 ＝ 昭和十七年 ハワイ州ホノルル市 リリハ醍醐分教院 ＝ 昭和三十二年 々 ホノルル市 弘法寺 ＝ 平成三十年 広島県広島 明星院 （平成二年から六年まで 八木恵生が金正院の兼務住職）	平野山 竹林禪寺 ＝ 高野山 金剛峯寺 ＝ 昭和二十五年 ハワイ州ホノルル市 弘法寺 ＝ 令和二年 広島県広島 明星院

ご志納いただきました皆様には、ご宝前にお名前を浄書し、尊像と共に毎朝勤行にて供養祈願致します。

又、本年十月十三日（日）の特別開帳法要にご案内し、護摩祈願の後、グループに分かれ直接尊像を拝礼していただきます。

尚、今後不動明王像は絶対秘仏となし封印しますので拝むことは出来なくなります。

大師堂莊嚴具の解説



一ページに掲載

大石順教尼

順教尼は明治二十一年三月、大阪道頓堀・二葉ずし長女として出生、本名よね。四歳・京都山村きみに就いて京舞を習う。十歳で山村流名取を許され将来は舞踊の師匠として身を立てるつもりであった。明治三十四年、大阪堀江の山海楼・中川万次郎の養女となり芸名妻吉つまきち。さらに西川流の舞を習う。明治三十八年六月二十日、養父万次郎の狂乱により一家六人が斬殺され、妻吉も両腕を斬り落とされ瀕死の重傷を負った。世に言う『堀江の六人斬り』事件である。幸いに妻吉だけは命を取り止め、退院後は寄席の舞台に立って年老いた両親を養った。

諸国巡業中、籠のカナリヤが雛を育てている姿を見て、口に筆を咥え文字や絵を書くことを思いつき、独学で勉強を始める。昭和二年、仏道に入ることを決心して大阪河内高安に小庵を建つ。昭和八年高野山にて天徳院住職金山穆昭和尚に従い剃髪得度、法名順教となる。

大僧正金山穆昭和尚は一生不犯、一生肉食妻帯せず、律僧として生涯を終えられた名僧である。昭和二十八年金剛峯寺座主、高野山真言宗管長に昇られた学徳兼備の硯学であられた。

かみなれし筆もささらに花の冷え 妻吉
おとされし腕は高野のきりの中 順教



台座は四角の箱



解体すると虫の糞だらけ



衣は傷だらけ



頭部の十一面と両腕が失われている

修復前のお姿



右手に錫杖を持ち
左手は花瓶をもつ
台座を蓮座に変更



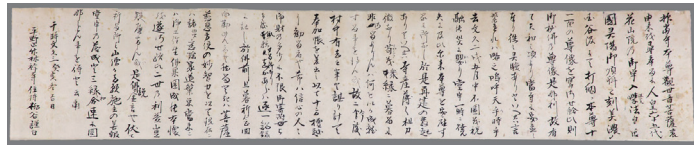
光背を補修



失われた腕と衣を補修



失われた頭部の十一面を補修



由來書

そもそも当寺本尊親世音菩薩の由來を尋ね奉るに人皇六十五代花山院（九八五）の御宇入覺法皇、西國靈場御巡拝のとき、美濃の国谷汲にて打納む。本尊十一面の尊像を写させ給ひ、すなわち御秘仏の尊像はれなり。故あつて天和の頃（一六八）より当寺に安置し奉り、往々靈驗ありといえども、言繁ければこれを略す。嗚呼、天うつり時うつり去り、文久二戊（一八六二）五月中、はからずも祝融（火災）の災いに會ひ一時に焼失におよび、爾來本尊を安座する所なし。この再建を發起ありといえども、寺産薄く檀力微なり。いやしくも結縁に募るにあらざるよりんば、何を以つて成就することを得んや。故にこのたび村中有志の輩とはかり、かぞえて奉加帳を差出し以つて十方檀越に勧めるものなり。ねがわくは信心の人々淨財の多少に限らず御寄附御喜捨を願う所なり。

逐一、銘録に記し仏前にて朝夕祈念回向勤めんものなり。然るにときは菩薩慈悲方便の妙智力を以つて、現在には諸々の災いを悉く除き、家運繁栄、未来には浄土往生仏果円成本懷を遂げさせたまい、二世の利益あに疑いべけんや。是れ仏説金言なり。伏して祈る所、山僧の志願施主の善報堂宇の落成を三縁和合して速やかに円かならん事を待たんや。

これ時に文久三癸亥（一八六三）冬吉日
平野山竹林禪寺住持桃谷謹つて白す



修復後のお姿

不動明王 五万円

堀内	唯良	二口
菊川	誠久	一口
海老澤	初美	一口
中畠	宏能	一口
秋田	久実枝	一口
坂東	清高	一口
山崎	正博	一口
岡	博見	一口
有附	顯	一口
三浦	浩司	一口
山瀬	光一	一口
山瀬	妙子	一口
中村	將夫	一口
水谷	伸治	一口
吉田	茂	一口
高坂	量道	一口
竹下	芳邦	二口
山崎	多美子	一口
岩本	秀男	一口
長迫	道雄	一口
田村	浩三	一口
安田	康一	一口
安田	純子	一口
高山	啓三	三口
高山	俊介	三口
高山	茂巳	三口
吉川	津芳	一口
平野	公正	一口
大西	寛	一口
岡野	久恵	一口
岡	照志	一口
長迫	博子	二口
長迫	信幸	二口
長迫	和恵	二口
明智	智子	一口
松本	洋介	二口
浅野	久子	一口
大塚	泰江	一口
橋本	健治	一口
桧田	明	一口
桧田	幸子	一口
安永	晶子	一口
岩田	宏	一口
原田	高明	一口

[illegible]

十一面觀世音菩薩

三万四

堀内	唯良	二口	吉川	津芳	一口
海老澤	初美	一口	岩本	政宏	一口
中畠	宏能	一口	福本	泰洋	一口
山崎	正博	一口	大西	寛	一口
田中	陽子	一口	國本	昌治	一口
西東	満知子	一口	岡野	久恵	一口
岡	博見	一口	小田	尊之	一口
有附	顯	一口	長迫	博子	五口
山瀬	光一	一口	長迫	信幸	五口
山瀬	妙子	一口	長迫	和恵	五口
中村	將夫	一口	明智	智子	一口
水谷	伸治	一口	松本	洋介	二口
吉田	茂	一口	浅野	久子	一口
高坂	量道	一口	三木	和子	一口
竹下	芳邦	二口	佐伯	法子	一口
山崎	多美子	一口	大塚	泰江	一口
岩本	秀男	二口	橋本	健治	一口
長迫	道雄	一口	桧田	明	一口
安田	康一	一口	安永	知代	一口
高山	スマ子	五口	安永	成平	一口
高山	恵美子	五口	岩田	宏	一口
高山	尚美	五口	原田	秀子	一口

[illegible]

不動明王・十一面觀世音菩薩 修復志納者御芳名